

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

16年間住み慣れた地元、山梨を一人で飛び出して1年。過去に海外に行った経験も、一人で旅をした経験もない自分が赤道を越え、知らない人たちと新しい環境で生活したことは自分にとっては大冒険で、得られたことや成長できたことも多く、とても貴重な経験となりました。

今回の留学ではニュージーランド・オークランド市にあるマウントロスキルグラマースクールに1年間留学しました。ニュージーランドは国際性が豊かなことで知られていますが、私の通っていた学校もとてもインターナショナルな学校で、60カ国以上の国籍の生徒が在学しています。日本で生活していた時は、日々の生活で外国人に会う機会が減多になかったので、この留学を通して人種による文化や生活の違いや、宗教観など様々な考えを知ることができてとてもいい経験になりました。特に宗教に関する違いが印象的で、ホストファミリーとキリスト教の教会に行ったり、友達がイスラム教の断食で学校でご飯を食べなかつたり、お祭りに合わせて手に伝統的なタトゥーをしてきたりと、日本で無宗教の私にとっては驚きの毎日です。いろいろな考え方や風習を体験することができました。(写真上) ホストマザーにトンガの民族衣装を着せてもらった時。



学校には留学生も多く、中国やフランス、イタリアをはじめ、様々な国の留学生が200人以上在籍していました。新しい年度の一学期にはインターナショナルスチューデントリーダーにも選出され、とても充実した学校生活を送ることができました。学校でインターナショナル生向けに開催されたトリップやピザパーティーを通じて、母国語が英語でない外国人と英語でコミュニケーションや交流を持つことができました。(写真下) インターナショナル生のトリップにて。



ニュージーランドはラグビーが国を挙げたスポーツとして知られています。留学中の活動として前年度からラグビーに積極的に取り組んできましたが、今年度も継続して取り組みました。国が違えばスポーツに対する考え方や取り組み方も違い、日本の部活動とはまた違った楽しさを感じることができました。前年度は言葉の壁に悩み、思ったようなプレーができなかったのですが、今年度はある程度の英語力がつきチームメイトとのコミュニケーションもうまくとれるようになったので、前年度よりも楽しみながらラグビーをすることができました。ラグビーは山梨の成年女子として8月下旬に国体予選が控えています。ニュージーランドで学んだことや自分よりも体格のいい外

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

国人たちと体を張ってラグビーをしてきた経験は確実に自分の自信につながっていると思うので、国体予選でチームの勝利に貢献できるように頑張っていきたいです。(写真下)ラグビーを通じた異文化交流。



部活動以外にも学校では授業や生徒の自主活動に積極的に取り組んできました。科学者になるのが留学前からの夢だったので、授業では物理や化学、数学を中心に授業を選択し、理系の考え方を日本とはまた違う方向から養えたと思います。授業の取り組み方では、日本と比べて実験や課外活動が多かったり、テストなども電卓を使ったり、テスト中に行った実験のデータからレポートを書くなどと日本とやり方が違うことが多く、日本で授業を受けていた時には気づかなかったことに気がついたり、英語で学んだ方がわかりやすいことがあったりと、とても面白かったです。

(写真右)化学の授業で滴定の実験を行っている時。

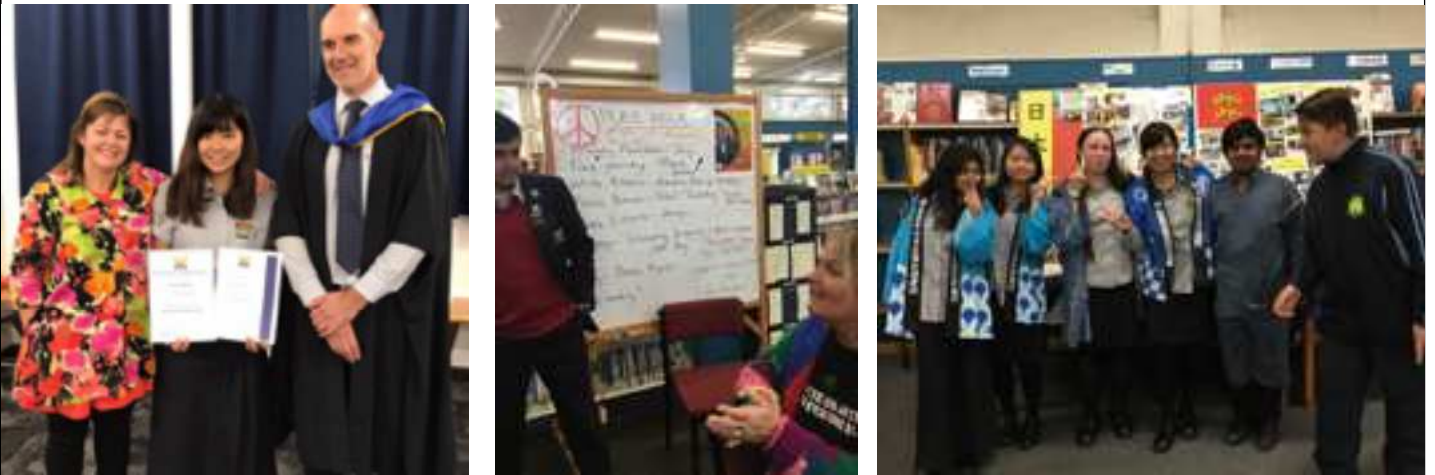


またその他の活動として、ピアメディエーター(生徒内での問題を生徒目線で解決に導く役割)や、アカデミックメンター(放課後に開催されるホームワークセンターで自分の得意分野を下級生などに教える役割)など、他の生徒と関わりを持てる活動に積極的に参加しました。そのおかげで、友達の幅や深さも広がり私生活でいい影響を与えられるような友人がたくさんできたのでいい経験になったと思います。(写真右)ピアメディエーターの証明書を頂いた時。

(写真次ページ左)アカデミックメンターとインターナショナルスチューデントリーダーの証明書を頂いた時。(写真次ページ中央)ピアメディエーターとしてピースウィークを学校で開催するための会議の時。(写真次ページ右)日本語の授業のクラスメイトとオープンスクールで日本の紹介をした時。



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書



この留学を通して、留学前に考えていたなりたい自分にはかなり近づけたと思いますが、留学を通してもっとももっと国際的な視野を持った大人になりたいと思ったので、この留学は自分の中ではまだ達成されていないと思います。世界には私の知らないことや私の限界を超えるものがたくさんあることに気がつきました。そして、もっと色々な世界を見て、たくさんの人と話して色々な視野を持てるようになりたいと思いました。留学をしなかったら見えなかった世界、知らなかった自分に出会えたことが本当に大きな収穫になりました。自分の留学はまだ始まったばかりで、これからもっといろいろな国に行つて違う世界を見たいという気持ちもあります。留学を通して学んだことは、世界にはいろいろな考え方を持った人がいるということ、自分はちっぽけな存在でも同じ目的を持った仲間と切磋琢磨し、目的に向かっていくことで大きな目標でも達成できるということ、そして、世界は無限大に広がっていて、自分は今の自分に満足してはいけないということも感じました。日本にいるままだつたら、そんな風には感じられなかったでしょう。この1年を通して、物事を柔軟に考えたり自分がこれからどのように生きていきたいのか具体的に考えられるように成長することができました。これからの生活で、留学で学んだことを生かして初めて、留学して良かったと思えると思います。まだ高校生活が2年弱残っているので、学んだことをどう生かしていくのか、どう発信していけるのかを常に考えながら生活していきたいと思っています。この経験が自分のこれからの成長につながっていくと今なら確信できます。これからは物事を国際的な視点から考えられるようになることとともに、自分の、地元山梨の、日本の、そして世界の未来を私達若者が深く考えていけるような環境づくりや取り組みに関わっていきたいです。